



2019年10月31日

各 位

上場会社名 クリナップ株式会社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 竹内 宏
 (コード番号 7955)
 問合せ先責任者 取締役 専務執行役員 川田 和弘
 (TEL 03-3894-4771)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期連結累計期間及び2020年3月期通期連結業績予想数値を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,400	300	330	50	1.37
今回修正予想(B)	54,700	2,200	2,250	1,550	42.35
増減額(B-A)	3,300	1,900	1,920	1,500	
増減率(%)	6.4	633.3	581.8	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	49,882	△ 1,159	△ 1,095	△ 1,286	△ 35.16

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	107,000	1,100	1,150	550	15.03
今回修正予想(B)	108,000	2,450	2,500	1,500	40.98
増減額(B-A)	1,000	1,350	1,350	950	
増減率(%)	0.9	122.7	117.4	172.7	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	104,486	△ 465	△ 376	△ 704	△ 19.26

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

回復基調であった持家の新設住宅着工戸数が足踏みを見せたものの、消費税増税前の駆け込み需要も見られ、売上高が当初想定を上回る見込みとなりました。また、利益面では、売上高の増加に加え、原価低減等により原価率が低下したこと、販管費の削減に努めたことにより、前回業績予想を上回る見通しとなりました。

(2) 通期

通期の見通しにつきましては、不安定な世界経済の影響や、消費税増税後の購買行動の変化など、景気リスクへの留意が必要な状況となっております。

このような中、当社グループは、システムキッチン「CENTRO(セントロ)」、「STEDIA(ステディア)」などを中心に売上拡大に努め、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供を引き続き強化し、会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーと連携してリフォーム需要の喚起に注力するとともに、原価低減、コスト削減にも引き続き努めてまいります。消費税増税の駆け込み需要の反動減や当第2四半期累計期間の業績も踏まえ、売上高、利益面とも業績予想の修正をいたします。

(注)本資料に記載されている業績見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上